

## 第2回福井駅西口中央地区市街地再開発事業委員会 協議概要

### 1 現計画の検証について

#### ○ 準備組合より現計画の考え方を説明

現計画における施設ごとの想定面積等について説明があった。(資料1)

#### ○ 市より現計画における課題について問題提起

施設全体における課題および用途別における課題について指摘した。

その際、特に建設コストに関する考察と分棟型のメリット・デメリットを提示した。

(資料2, 3, 4)

#### ○ 主な意見や指摘事項

(商工会議所)

- ・ 商業施設をはじめ各施設の長期的・安定的な施設運営を考慮し、分棟や施設規模のコンパクト化の検討を行うべきである。
- ・ 地下駐車場については、維持費も高額となり経営面での懸念がある。
- ・ 事業委員会における協議の熟度を上げ、なるべく早く結論を出していかなければならない。

(県(オブザーバー))

- ・ 全国各地の再開発では、商業が苦戦しており、特に物販系が厳しいと聞いている。地方都市でうまくいっているところはない。
- ・ 現計画は、顧客ニーズの視点からの規模の検討が不足している。また、建設時点だけでなく、将来の運営面からの検証も必要である。
- ・ 商業施設については、ビル単独で考えるのではなく、周辺商店街等と連携を図り、駅前地区全体が活性化するような計画とすべきである。

(準備組合)

- ・ 商業については再開発ビルの全体像がある程度決まらなると具体的に決められないが、立地特性や郊外店との競合などを考慮しながら、考えていきたい。
- ・ 住宅については、完成時期や周辺の開発状況に大きな影響を受けるため、早く結論を出したい。
- ・ 施設規模や分棟型については、柔軟に対応する。

#### ○ 協議結果

現計画だけではなく、商業施設や住宅については、適正規模等について検討を進めるとともに、分棟型などについても具体的に検討を進めることとなった。

### 2 福井駅西口中央地区に求められる機能について

- 広域の視点および地域の視点から再開発に求められる機能および他都市(金沢市、富山市)との比較から見る福井駅周辺に求められる機能について、市の考え方を説明した。(資料5, 6)

#### ○ 主な意見や指摘事項

(準備組合)

- ・ 県施設の導入を早期に意思決定していただけるよう強く要望する。

(県(オブザーバー))

- ・ 現段階では、必要な県施設は整備済みであり、新たに導入する施設はない。
- ・ 賑わいの創出については、西口再開発ビルだけでなく、福井駅周辺全体を捉えて対応していくべきである。
- ・ 敷地的に狭いことはわかるが、多くの市民が駅前に望んでいる広場などの屋外スペースがあるとよいのではないかと。

(商工会議所)

- ・ 賑わいの創出について、再開発ビルの商業のみで賑わいを創出するには、現計画の規模では限界がある。また、公共公益施設がその役割を担うことは難しいし、シャワー効果も期待できない。提言であげた水族館など、動きのあるものを見せる施設があれば人が集まってくるのではないかと。
- ・ 全国的に駅前には似たり寄ったりで特徴がない。福井の特色、福井らしさを出せるような駅前のデザインを今後どのようにしていくかが大事である。

#### ○ 協議結果

賑わいや福井らしさをどのように創出していくのか、再開発ビルだけでなく駅前地区全体にどのような機能を配置していくべきか、検討していくこととなった。

市の公共公益施設等については、導入機能などについて、さらに具体的に検討を進めることとなった。